

極東開発工業

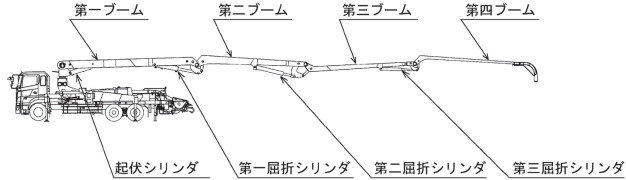
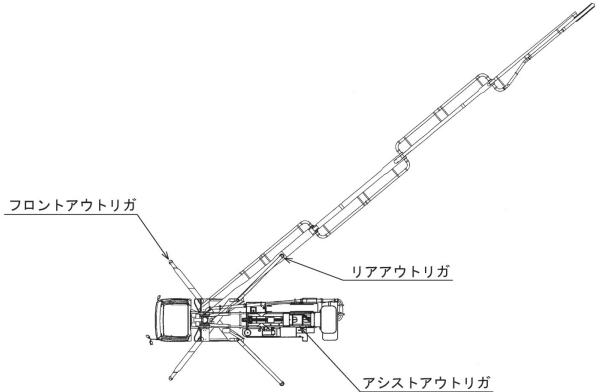
適 用 範 囲		モ デ ル 名		PY140-36A
		主仕様	吸吐弁形式	－
			最大吐出量	m ³ / h
			最大吐出圧力	Mpa
			ア-ム最大地上高	m
		適 用 号 機		21P10-0024～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検 査 基 準 値
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min
			ローター回転数	回/min
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)
			(作動油温度)	(°C)
	カクハンツチ 攪拌装置	回 転 速 度 チェーンのたわみ	min ⁻¹	34±3
			m m	－
			(min ⁻¹)	(1800 +0 -50)
			(min ⁻¹)	(1791 +0 -50)
			(°C)	(50±10)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa	()
			(min)	()
		圧力降下許容量 (保持時間)	Pa	()
			(min)	()
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	Vベルトのたわみ	m m
			－	－
			ブーム(1)シリンダー	m m
			ブーム(2)シリンダー	m m
			ブーム(3)シリンダー	m m
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(4)シリンダー	m m
			ブーム(5)シリンダー	m m
			(測定時間)	(min)
			(作動計測条件)	(10)
			(作業装置姿勢)	(-)
			[図面No.]	[図 No.1]
		伸 び 縮 み	ブーム(1)	sec
			60±10	sec
			ブーム(2)	sec
			140±10	sec
			140±10	sec
			ブーム(3)	sec
			125±10	sec
			135±10	sec
			ブーム(4)	sec
			50±10	sec
			90±10	sec
			ブーム(5)	sec
			－	sec
			－	sec
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)
			(作動油温度)	(°C)
			(作業装置姿勢)	(50±10)
			[図面No.]	[図面No.3]
洗浄装置	水 ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油 圧	Mpa
			水 圧	Mpa
			飛距離	m
	空 圧 機	吐出圧力	MPa	－
			(min ⁻¹)	(1800 +0 -50)
			(min ⁻¹)	(1791 +0 -50)
			(°C)	(50±10)

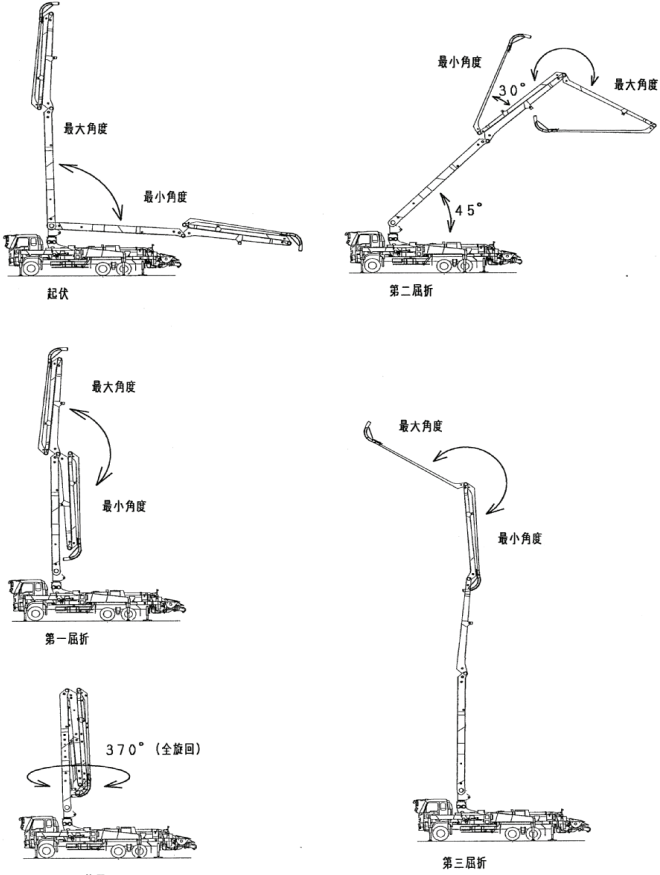
☆印：新車基準値を表す(参考値)

コンクリートポンプ車

適 用 範 囲		モ デ ル 名		PY140-36A
		主仕様	吸吐弁形式	－
			最大吐出量	m ³ / h
			最大吐出圧力	Mpa
			ア-ム最大地上高	m
		適 用 号 機		21P10-0024～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検 査 基 準 値
油圧装置	☆ 油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	29.4±1
			MPa	29.4±1
		弁シリンダー油圧	MPa	13.7±1
			MPa	34.3±1
		ブーム油圧	MPa	－
			ACCガス封入圧力	－
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 +0 -50)
			(min ⁻¹)	(1791 +0 -50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付ボルトの締付	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	－
		内輪取付ボルトの 締め付けトルク	N・m	－
		旋回ボルトの交換基準	年	－
	☆ 旋 回 作 動 速 度	旋 回 速 度	sec	145±10
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 +0 -50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1791 +0 -50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)
	☆ シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	0.5 以下
		(測 定 時 間)	(min)	(10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.2]
特記事項	1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。			
	2)標準圧送システムの場合について示す。			
	3)自動給油は給油されていることを確認すること。			
	4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする			
	5)ブーム制振装置ACCガス封入圧力13.8MPa			

☆印：新車基準値を表す(参考値)

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、 ブームをまっすぐに伸ばした 状態で保持する。各ブームシ リンダにダイヤルゲージを取 り付け、10分間の自然降下量 を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみ とし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
		
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定 対象のアウトリガの真上に置 く。アウトリガにダイヤルゲ ージを取り付け、10分間の自 然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、 各ブームシリンダの全ストロ ークの作動時間をストップウ オッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
		

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-4 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-5 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照)

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-6 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)